

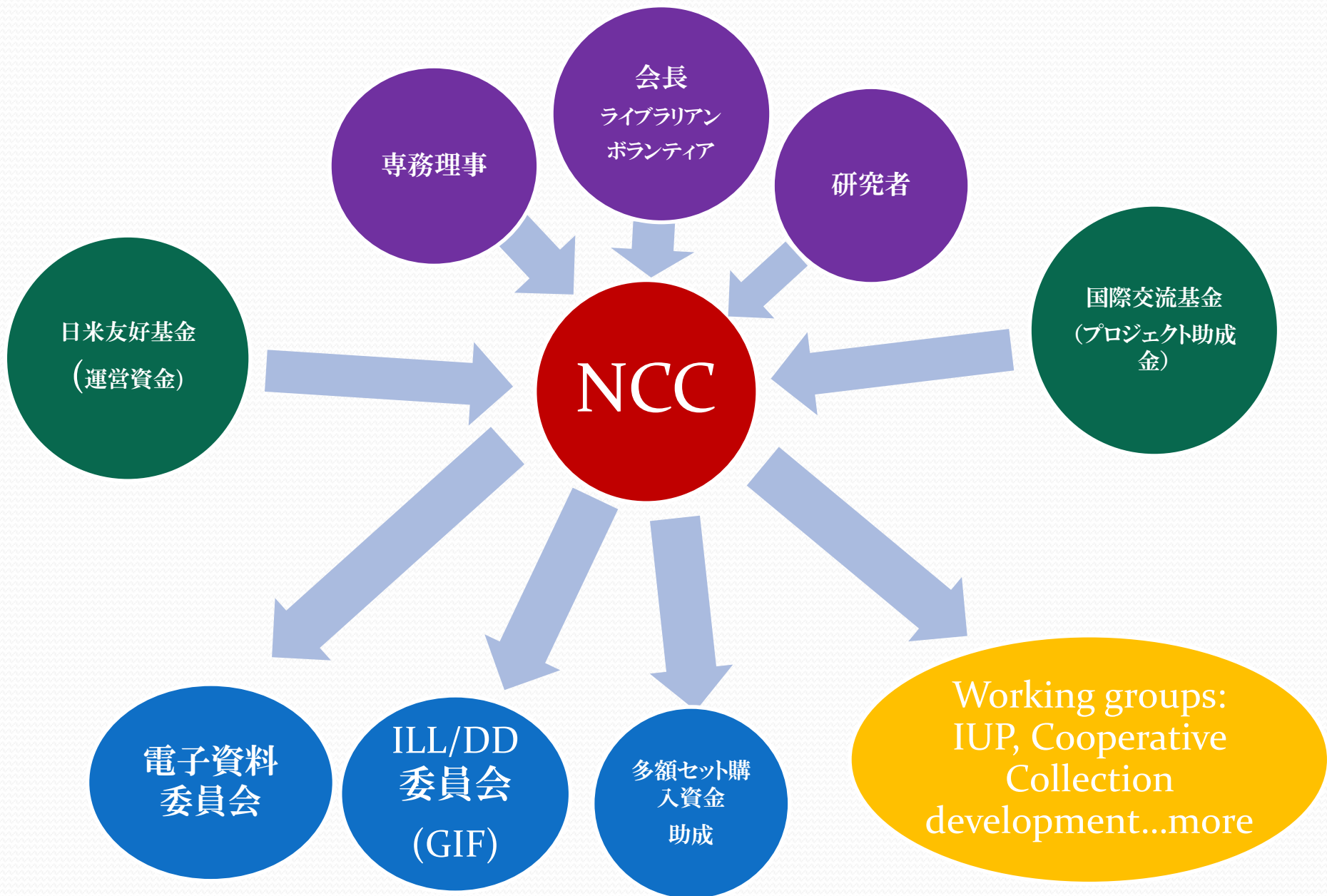


**北米日本研究資料調整協議会**  
**North American Coordinating Council**  
**on Japanese Library Resources (NCC)**

<https://guides.nccjapan.org/>

**1991年 国際交流基金・日米友好基金の助成金により非営利団体として 設立**

**北米における人文科学、社会科学、あらゆる専門分野に及ぶ日本研究に関する図書館コレクションおよび他の様式の情報へのアクセスを、北米、日本および諸外国の関係諸団体と協力事業を行いながら最大限に促進する。**



# 国際協力事業例

2002年 GIF(Global ILL Framework) プロジェクト  
(日米文化教育交流会議 CULCON)

2002年より 国会図書館における日本研究司書、研究者を対象とする研修  
(国立情報研究所、国文学研究資料館、国際文化会館)

2006年 Japan-US 電子資料会議 (東京大学総合図書館)  
国立大学図書館協会、私立大学図書館協会、NCC、東アジア図書館協議会日本資料委員会

2008年 Image Use Protocol会議

リエゾン： 日本、European Association of Japanese Resource Specialist

国立新美術館は2012年1月21日、開館5周年を迎えました。

ご利用案内 展覧会 教育普及 美術の資料と情報 サイト内検索: 検索

アクセス フロアガイド バリアフリー アートライブラリー レストラン、カフェ ミュージアムショップ 蔵書検索(OPAC) アート commons - 展覧会情報検索

ホーム > 美術の資料と情報 >

### JACプロジェクト

「JAC(Japan Art Catalog)プロジェクト」とは、海外では入手が非常に困難な日本の展覧会カタログを、海外の日本美術研究の拠点機関に寄贈する事業です。

JACプロジェクトは、1995年、国際交流基金と(財)国際文化交流推進協会(ACEジャパン)の共催事業としてスタートしました。国内で開催される展覧会のカタログを2部ずつ収集し、1部は北米日本研究資料調整協議会(NOC)が公募・審査した米国の拠点に寄贈、もう1部はACEジャパンが1996年に東京赤坂に開設した展覧会カタログ専門図書館、「アートカタログ・ライブラリー」に収蔵して、日本の美術研究者に公開しました。

2004年10月、JACプロジェクトは、「アートカタログ・ライブラリー」の約20,000冊の展覧会カタログとともに、当館に引き継がれることになりました。当館では、下記の4つの機関に対し、プロジェクトの趣旨に賛同する国内の美術館やデパート、画廊、新聞社などから提供していただいた日本の展覧会カタログを、1年に1回のペースで、それぞれ約2,000冊寄贈しています。これらの展覧会カタログは、各寄贈先の各機関で活用されているだけでなく、オンライン公開カタログやユニオン・カタログに登録され、図書館間相互貸借サービス(LL)などによって、他の機関でも活用されています。

米・スミソニアン研究所  
フリーア美術館図書室



米・コロンビア大学  
エイヴリー建築・美術図書館



蘭・ライデン大学  
東亜図書館



豪・シドニー大学  
フィッシュャー図書館



## 2012年 日米文化教育交流会議 CULCONの施策提言

### 米国における日本語教育

9. カルコンは米国における日本語教育が強化されること、および利用料の軽減や削減も含め、米国の学生が日本語教材・資料にアクセスする機会が拡大することを要請する。また字幕付日本語教材のさらなる開発を推奨する。

# クールジャパンからリアルジャパンへ

リアルジャパンを世界に発信！

クールジャパンを超える  
世界的MLAコラボレーションは可能か  
これからの方向性を探る

主催：北米日本研究資料調整協議会・図書館総合展運営委員会

助成団体：

国際交流基金日米センター

日米友好基金

東芝国際交流財団

